

第21号
平成22年7月

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意深く徐々に試してください。

山田整骨院
熊本市出水4-25-1
096-364-7611
<http://yamadasu.com/>
E-mail:yamadasu@opal.ocn.ne.jp

☒ 解どこに行っても治ら なかつた病気が首で治せる

これは松井孝嘉医学博士の本のタイトルです。松井医博は東大医学部卒、米国で全身用CTの開発に従事。日本脳神経財団理事、病院理事長。2008年日本自律神経学会で、世界で初めて、自律神経失調症を完治させる治療法について講演しました。

うつ病、自律神経失調症、頭痛、めまい、パニック、血圧不安定、慢性疲労症候群、目の異常は首コリが原因であり、首コリを解消すれば症状がなくなる！

松井先生の解説……首には筋肉と神経が複雑に入り組み、そこに脳に栄養を送る太い血管が通っている。自律神経や頭痛を生じさせる大後頭神経や、その他の多くの神経が分布している。それで、首の筋肉が異常にこってしまうと周辺の神経や血管を圧迫し、頭痛や自律神経の失調、それにとまらぬ様々な症状を生じてしまうことになる。逆に言うと、首の筋肉がゆるめば、神経や血管への圧迫がなくなり、症状はなくなる。何故これらの病気が治りにくいかというと、首のことは医師もまだよくわかっていないからである。首こりがめまい、頭痛、自律神経失調を生み出す医学的なメカニズムはまだ明確にはわかっていない。しかし、たくさんの完治例がこの治療法の正しいことを証明している。臨床の世界で治療法が先に確立することは珍しくない。

首こりはどうして起こるのか

1. 姿勢……パソコンの操作など同じ姿勢を長く続ける。(注：別名うつむき症候群、ストレートネック。体を横から見ると首の前屈をはじめS字様の生理的湾曲があるが、それがくずれること。)
2. 冷え……首を冷やししやすい環境にいること。
3. 緊張……心理的、肉体的に緊張状態が長く続く仕事等で生じる。
4. 疲労……休息が足らなかつたり寝不足で疲労がたまり筋肉は硬くなる。

5. 外傷……事故や激しい運動で首を傷めたことがある。(注：首の痛み、肩こりのひどい人は半数以上が交通事故の経験者である。最も酷い症例が脳脊髄液減少症である。)

松井病院の治療及び指導

1. 特殊な低周波治療 2. 遠赤外線治療 3. 電気鍼治療 4. 薬物治療
- 指導 1. アジやイワシなどの青魚食事療法、低カロリー食。
2. 体操 3. 良姿勢保持 4. 首を温める方法 5. 入浴法
- 通院……週に3回以上、できれば毎日治療。治療期間は、毎日の通院で数ヶ月から一年前後。通院の頻度が低いとその間隔に応じて期間が長くなる。
- 入院……1日2回治療。毎日通院と比べて約3倍のペースで症状改善。首こり病を入院治療できるのは全国で松井病院だけで1年ほどの予約待ち状態。
- 首こり病治療の治癒率は9割以上。
- ◎特記：松井先生曰く、皇太子妃雅子さまの症状のほとんどは首こり病と一致します。雅子さまの治療にあたっている医師に、首こり病のことを教えたのですが、聞く耳をもちません。

牽引療法について

本の中で「けん引治療はよほど適切に行わないと、首を傷つけます」と書いてあります。病院では患者さんの症状により、けん引の重量と時間を計算して実施します。熟練した専門家が患者さんの状態を熟知して行わなければいけないということです。ストレートネックや交通事故による首の変形は神経や血管を圧迫しますので安全を確認した上で実施した方がいいと当院では考えています。当院の牽引は重しを用いず、ベッドを傾斜させ、ローリングを加えて行いますので、安全で効果的だと思っています。

あ と が き

私が常日頃思っている事が、この本に書かれていて大変嬉しく思いました。当院の治療及び説明の正しさを証明して頂いたようで自信になりました。首を直接著しく傷つける交通事故の重大性も改めて確認しました。けん引療法の時機は慎重に見極めないといけないと自省しています。

首の変形を矯正する木枕の必要性も再認識しました。首が良くなることで、人々を苦しみから解放できるとは、なんと素晴らしいことでしょう。

本を整骨院に置いてありますので、読みたい方はお申し出下さい。